

表丹沢魅力づくり構想案に対するパブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和2年7月18日（土）から同年8月17日（月）まで

2 意見募集の周知方法

広報はだの7月15日号及び市ホームページ

3 構想案の公表方法

- (1) ホームページへの掲載
- (2) 公民館、図書館及び駅連絡所における閲覧
- (3) 本庁舎行政情報閲覧コーナーにおける閲覧
- (4) 総合政策課における閲覧

4 意見提出方法

郵送、FAX、電子メール及び持参の方法による

5 提出された意見の内容及びその取扱い等

内容分類	件数	意見への対応区分（※）				
		A	B	C	D	E
第1章 はじめに	7	4	3			
第2章 表丹沢の特徴	17	3	4	9	1	
第3章 表丹沢が目指す姿	1		1			
第4章 魅力づくり方針	45	1	28	16		
第5章 構想の推進に向けて	5		3	2		
その他全般	24		4	17		3
計	99	8	43	44	1	3

※ 意見への対応区分

- A：意見等の趣旨等を構想に反映したもの
- B：意見等の趣旨等は既に構想に反映されていると考えるもの
- C：今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
- D：構想に反映できないもの
- E：その他（感想、質問等）

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
1	第1章	総合計画の下位計画となるが、整合性を図ってほしい。	B	構想案4ページに示すとおり、秦野市総合計画や他の関係計画等とも連携し、整合性を図ってまいります。
2	第1章	持続可能なまちづくりを実現するためにも、第1章の「3 位置付けと構想期間」にSDGsについても記載したほうがよい。	A	いただいた御意見のとおり、SDGsについて記載しました。
3	第1章	表丹沢西へのアプローチ経路として、水無川を活用すべきである。前市長時代の「風の道」構想を活かし、行政の継続性を守ることになる。	B	構想案4ページに示すとおり、他の関連計画等とも連携し、整合性を図ってまいります。
4	第1章	「表丹沢魅力づくり構想（案）」は、本市の「秦野市観光振興基本計画～湧水と里山・首都圏のオアシス・はだの」と異なるが、その目的達成等では重複している項目や内容が多い。しかし、「秦野市観光振興基本計画」と「表丹沢魅力づくり構想（案）」との関連性が示されていない。また、総合計画や本市の関連計画等との連携があるようだが、それぞれの行政計画の動向と目的達成の状況が不明確である。他の行政計画の成果が、「表丹沢魅力づくり構想（案）」の提案に、どのように反映されているのかを、もう少し整理して市民に示すべきであると思う。	B	構想案61ページに示すとおり、構想策定後は、PDCAサイクルを繰り返しながら、具体的な事業計画の策定や見直しを行い、活動の成果と課題を明確にします。その中で、達成できなかった取組については、その原因や問題点を分析し、その後の事業計画に反映してまいります。 また、現在観光振興基本計画等の関連計画も見直しており、本構想と連携し、整合性を図ってまいります。
5	第1章	P2 新東名高速道路の開通と新たな期待 ～生産年齢人口の減少やそれに伴う地域経済の縮小が懸念されています。 懸念：気にかかって不安に思うこと、心配、気がかり（広辞苑より） 心配している時ではなく、解決すべき事項であるので、懸念→問題となっています。 に変更	A	いただいた御意見のとおり、「～生産年齢人口の減少やそれに伴う地域経済の縮小が問題となっています。」に変更しました。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
6	第1章	P2 表丹沢の魅力を生かして ～こうした表丹沢一帯にある魅力 どんな魅力なのか、ここまでの記述ではよくわからない。表現が荒い。もっとわかりやすい表現が必要。	A	構想案2ページに示すとおり、新東名高速道路の全線開通による広域からのアクセスの良さや農林業、観光、歴史、文化、スポーツなど様々な分野の資源等を指していますが、文章を修正しました。
7	第1章	P3 対象エリア 丹沢山地と丹沢山塊の記述があるが、山地と山塊の違いの説明が必要でないだろうか。	A	「丹沢山地」に統一しました。
8	第2章	上秦野神社の神輿、戸川の砥石、三廻部の砂金や鉄鉱石など、歴史文化資源はまだ埋もれたものがあるので、活用を検討してほしい。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
9	第2章	21ページの「～14軒の旅館がありました。現在では半数以下にまで減少しています。」とあるが、陣屋以外の大和旅館や梵天荘は、後継者不足であり、厳しい状況である。「～半数以下にまで減少しています。」よりも、厳しい状況であるため、表現を修正していただきたい。	A	「～現在ではビジネス旅館を含め4軒まで減少しています。」に修正しました。
10	第2章	品種別農業産出額ではなく、品目別、種目別などのほうがわかりやすい。	C	構想案9ページに示している品種別農業産出額は、多品種栽培が特徴の農業を表すために記載しております。いただいた御意見は、見直しを図る際に参考にさせていただきます。
11	第2章	寒暖差のある盆地の特性甘味が強く美味、色が鮮明になる。何を栽培しても優秀品ができる。その上でたばこの熱心な技術を生かす。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
12	第2章	「表丹沢魅力づくり構想（案）」P23 「表丹沢のSWOT分析」にある「表丹沢のポテンシャル」は、「都心」から見た考え方である。従来、都心に近い地方自治体は「アクセスの良さを生かした」「都心の人を、いかに集めるのか」に苦心し、ここに力点を置いてきた。しかし本市の近隣や周辺には全国に名を馳せている観光地を控えている。さらに日本遺産、世界遺産も近い。旅行代理店が描くような画一的な思考で、他の地方自治体と肩を並べたり、競い合ったりする必要はない。また「都心」に向けた「SWOT分析」ではなく、まずは市民に本市の魅力を惹きつけるために、内向きで自前の「SWOT分析」によって、「本物の魅力」の価値観や尺度(スケール)づくりから始めるべきと考える。	C	いただいた御意見は、見直しを図る際などに参考とさせていただきます。
13	第2章	菜の花台とヤビツ峠の間は道が狭いため、交通渋滞のリスクがあり、バスの遅延等も想定される。そのために交通規制をかけたり、交通整理員を配置するのは労力とコストが多大にかかることが想定される。 そのため、レストハウスの場所は菜の花台とし、そこを主な集客拠点として、ヤビツ峠を小さな展示施設を兼ねた休憩所程度でよいのではないかと。 実際、登山者はヤビツ峠から大山～伊勢原市、塔ノ岳～大倉に抜けていくコースをとることが多いので、ヤビツ峠で登山前にお茶をしたり、お土産を買って登っていくことは想定しづらい。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
14	第2章	菜の花台であれば、ハイカーやMTB利用者が菩提や横野方面への移動が考えられるので、宿泊や購買等で地域が受益できるメリットは増大する。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
15	第2章	ヤビツ峠の建設予定地からの景色は、菜の花台と比較すると視野が狭いので、あまりよろしくない。つまり、登山者や自転車乗りといった行く目的のある人以外（一般の観光客）が訪れても、魅力に乏しい。 むしろ現状のままとし、自然環境が豊かなままの散策コースとして利用者を楽しませたほうが、自然を享受したい利用者の理解は得やすいのではないかと。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
16	第2章	表丹沢の資源 表尾根には、ハコネコメツツジの希少種の群落が存在するほか、シロヤオツツジ、トウゴクミツバツツジ、コイワザクラなど多くの花が咲くことが特徴である。 低山部においては、キンラン、ギンランの群落があるほか、各団体においてヤマユリの再生が取り組まれている。	B	構想案6ページに示すとおり、いただいた御意見の趣旨は反映されているものと考えております。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
17	第2章	自然休養林についての記述の欠落について 林野庁において、首都圏近郊の国有林をインバウンド需要拡大のアイテムとして高尾、箱根に次ぐエリアとして、丹沢に注目している。	C	いただいた御意見は、今後の参考にさせていただきます。
18	第2章	都心からのアクセスの良さを生かした多品種栽培が特徴の農業 昭和30年代において、カーネーションは全国において有数の産地でしたが、その後作付けがバラへと移行し、現在においてはごく限られた作付けにとどまっているので、県内有数の産地とは言えないのではないかと。農林統計を参照してください。 神奈川県は、気象条件の良さを生かし、寒地暖地の双方の果樹栽培ができるため、多品種栽培ができる。首都圏に近い優位性を発揮した市場を通さない直売方式による農家経営が多くなっている。	B	農林水産省統計を確認するとともに、秦野市農協協働組合にも出荷状況等を確認しています。
19	第2章	前近代的な山小屋について 丹沢には、宿泊可能な山小屋が多数あるが、その多くが昭和30年代の登山ブームに建設されたもので、老朽化が激しい。また、宿泊者に対するサービスに対しては、ヨーロッパや北アルプスの小屋と比べると比較にならない。唯一近代的な料理が出るのが、丹沢山のみやま山荘くらいで、登山者に対して魅力を下げている。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
20	第2章	スマートインターの優位性について 来年度に、念願の新東名が開通し、より多くの来訪者が期待できるが、新しくできるインターを降りてくる車両に対応する駐車場が整備されなければ、新東名の開通が魅力向上の優位性にはならないのではないかと。 スマートインターから近い戸沢出合には、広大な西財産区の土地が広がっているので、アクセス道路の再整備を行うとともにインフラ整備は、今後の魅力向上には欠かせないと思う。	B	構想案37、40ページに示すとおり、県と連携しながら県立秦野戸川公園の未開設区域の活用検討を行うとともに、秦野サービスエリア（仮称）スマートインターチェンジ周辺施設間の連携を図るためにアクセス道路の整備も検討してまいります。
21	第2章	P5 表丹沢の資源 (1) 都心から近くにある本格的自然 秦野市が発信しているので、主語は秦野市 したがって、(1) 都心に近い本格的自然としたい。 ア 都心から1時間のアクセス ～市の中心部は東京駅から約60キロメートル～とあるが、新宿駅から〇〇キロメートルに変更。本市の鉄道アクセスは、小田急を外しては考えられない。なぜ、東京駅を使ったのかは疑問である。	A	いただいた御意見のとおり、「(1) 都心に近い本格的自然」、「～新宿駅から約56キロメートル」に修正しました。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
22	第2章	P9 品種別農業産出額 グラフ中 特化係数の説明が必要。特化の意味がわからない。	A	いただいた御意見のとおり、特化係数の注釈を加えました。
23	第2章	P16 スローライフ志向の増加と移住の動き 生活の質や楽しみを重視するスローライフ志向が増加～自然豊かな地域へと移住する動きも拡大～ → 出典先である 内閣府「東京在住者の今後の移住に関する調査」を引用しているが、年齢別で整理したデータはなかったのか。スローライフを望んでいる年代は、いわゆるリタイア組ではないのだろうか。こうした人たちが秦野に移住してきたら、ただでさえ、老人福祉予算が上昇しているのに、終の棲家に秦野を選ばれたら困ることになる。	D	「東京在住者の今後の移住に関する意向調査」によると、特に30代以上の男性が、スローライフを望んでいる傾向があります。
24	第2章	P23 表丹沢のSWOT分析 S強みに 里海への貢献を追加。 表丹沢から流れ出る河川は、相模湾に流れ込んでいる。その距離は短く良質な水質である。表丹沢は水源地であり、名水100選のアピールになると考えます。	B	構想案23ページに示すとおり、豊かな水を強みに掲載しており、趣旨等は反映されていると考えております。
25	第3章	ブナ林が枯れてしまって、丹沢の魅力は損なわれているように感じる。何をもち本物の魅力というのか、しっかりと定める必要がある。	B	構想案24ページに示すとおり、第3章 表丹沢が目指す姿において、新東名高速道路の全線開通による更なるアクセスの良さを生かしながら、表丹沢にある様々な分野の資源を磨き、つなげ、そして新たに触れる機会を増やすことで、一人ひとりが本物の魅力を見つけ出せる場所としてまいります。
26	第4章	渋沢駅～はだの歴史博物館～県立秦野戸川公園のバス路線や、千村の頭高山（八重桜）とのイベント開催時の連携など、構想エリア外への回遊性も検討してほしい。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
27	第4章	表丹沢に行きたい、関わりたい気持ちになってもらうために、もっとPRに力を入れるとともに、表丹沢の最大の魅力である山々を積極的に取り上げてほしい。	B	構想案46ページに示すとおり、表丹沢にある多くの資源や活動を集約した情報プラットフォームの構築を行うため、総合ホームページの作成やSNS等の活用、周辺市町村と連携した情報発信等を行ってまいります。
28	第4章	落花生の加工品である、うでぴーや味噌ぴーなど、本市ならではの特産品を積極的に取り上げてほしい。	B	構想案38ページに示すとおり、名産品をより身近なものや手に取りやすいものとして、消費につなげていくため、農家や製造・加工、流通・販売等との異業種連携による魅力向上を図ってまいります。
29	第4章	林道の整備と活用は、表丹沢の魅力を飛躍的に向上させる。特に表丹沢林道の活用と、それに向けた整備を検討してほしい。	B	構想案35ページに示すとおり、市営林道をはじめその他林道も含めて、活用の可能性を検討してまいります。
30	第4章	県道70号の菜の花台とヤビツ峠の間は、特に狭く、歩行者の安全を確保する視点からも、拡幅整備を県に要望してほしい。	B	構想案37ページに示すとおり、県と連携しながら、県道70号の道路拡幅や歩道設置等の可能性の検討のほか、効果的な交通ルールとその周知方法の研究を行ってまいります。
31	第4章	県立秦野戸川公園の開園以降、大倉の名称があまり使われなくなっている。地域やバス停の名称は大倉であり、歴史的にも大倉という名称が、多く使われていたことから、大倉という名称をもっと使ってほしい。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
32	第4章	狩猟は、有害鳥獣を駆除する手段ではなく、レジャーとして定着し、東京や横浜から、狩猟を楽しむために訪れる人も多い。ゴルフも含め、狩猟をレジャーとして、魅力ある資源として取り上げてほしい。	C	いただいた御意見は、今後の参考にさせていただきます。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
33	第4章	オートバイやBMXのオフロードコースを整備すれば、多くの来訪者が期待されるので、実現に向けて検討してほしい。	B	構想案56ページに示すとおり、遊休地等において、民間事業者と連携を図りながら、マウンテンバイクやパラグライダー等の多様な活動フィールドを創出し、山岳・里山アクティビティの更なる魅力向上につなげてまいります。
34	第4章	アクティビティの種類など、偏ったところが見受けられるパラグライダーや沢登り、溪流釣りなども取り上げてほしい。	B	構想案31ページに示すとおり、パラグライダーや沢登りなどの山岳・里山アクティビティや表丹沢にある多くの資源等を集約した情報のプラットフォームを構築し、より効果的に情報発信を行ってまいります。
35	第4章	そばは、他の作物に比べても作付面積がかなり広く、そばの花も魅力的であるため、もっと取り上げてほしい。	B	構想案46ページに示すとおり、今後、表丹沢にある多くの資源や活動等を集約した情報のプラットフォームを構築し、より効果的に情報発信を行ってまいります。
36	第4章	ゴルフ場やボスコ、青山荘など民間施設を取り上げていくべきである。	B	構想案46ページに示すとおり、今後、表丹沢にある多くの資源や活動等を集約した情報のプラットフォームを構築し、より効果的に情報発信を行ってまいります。
37	第4章	ゴルフ場の遊休地を活用することで、パークゴルフを検討してほしい。	B	構想案40ページに示すとおり、新たな取組みとして、有休ゴルフ場の活用策の検討を行ってまいります。
38	第4章	鶴巻地区では、駅前でジビエ料理を活用した地域活性といった話が出ているが、構想にはジビエのことが取り上げられていない。課題はあると思うが、ジビエの活用方法も検討してほしい。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
39	第4章	食をもっと取り上げてほしい。	B	構想案38ページに示すとおり、名産品をより身近なものや手に取りやすいものとして、消費につなげていくため、農家や製造・加工、流通・販売等との異業種連携による魅力向上を図ってまいります。
40	第4章	丹沢の魅力である奥丹沢、西丹沢もPRをしてほしい。	B	構想案47ページに示すとおり、周辺市町村とも連携して、広域的な情報発信を行ってまいります。
41	第4章	制度的に難しい面があるが、林道の整備・接続をして、幹線道路として活用すべきである。	B	構想案35ページに示すとおり、市営林道をはじめその他林道も含めて、活用の可能性を検討してまいります。
42	第4章	表丹沢といえば、渋沢丘陵から見える範囲であり、里山整備手法で多いにボランティアを利用すべきである。キノコ類の栽培、昆虫の養殖、腐葉土の培養販売、青少年野外活動ゾーン、森林セラピーゾーン等場所を指定し、ボランティア団体に委託してもよいと思う。	B	構想案40ページに示すとおり、森林整備ボランティア養成講座の開催などにより、適切な自然保護を推進してまいります。
43	第4章	大倉、蓑毛当たりの標高の場所（涼しさの感ずる場所）に宿泊可能なキャンプ場を開設してほしい。	B	構想案35ページに示すとおり、宿泊施設の可能性を検討してまいります。
44	第4章	表丹沢野外活動センターを表丹沢の中央の拠点として、もっと多くの方に表丹沢にある本物の自然に触れていただける施設となるよう、民間事業者のアイデアやノウハウを最大限に活用できるよう運営方法を検討していただきたい。	B	構想案33ページに示すとおり、民間活力を導入した運営体制の見直しによる山岳・里山アクティビティの活動を支える拠点として活性化を目指してまいります。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
45	第4章	表丹沢東 地域活動が生む交流のエリア 荒廃農地対策や森林整備などにつながる体験イベント等を加えられるとよい。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
46	第4章	森林セラピーに当たり、駐車場やトイレ等の環境整備が必要であるとともに、毎週末にイベント開催できるようにガイドの養成ができるとうい。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
47	第4章	那須高原では、看板などを茶系で統一しており、風情がある。表丹沢でも看板などの色彩を統一できるとよい。	B	構想案35ページに示すとおり、周辺景観と調和したものになるようデザインコードの検討を行ってまいります。
48	第4章	メジャーな登山道には、案内板があるのに対し、比較的マイナーな登山道には案内板が少なく、今後グリーンツーリズムを展開するに当たり、その整備を進めてほしい。	B	構想案35ページに示すとおり、県や民間事業者などと連携して、案内看板等の設置促進を図ってまいります。
49	第4章	コト（歴史・体験・発信等）づくりの一環として、取壊して撤去が予定されている大倉高原山の家を活用すべきである。（例：エンディング・イベント等）	B	構想案39ページに示すとおり、テントサイトを生かした環境整備などを進め、更なる魅力向上を図ってまいります。
50	第4章	高齢化時代を迎え、医療費が多くかかります。そこで高齢者がより健康に過ごせる、楽しいパークゴルフを通じて、健康増進につとめ医療費の削減につなげます。 スマートインターを利用される近隣の方が手軽に楽しめるスポーツとして良いと思います。 県立秦野戸川公園近くに、ゴルフ場の空きコースが2ホールあります。ここを借りてパークゴルフ場と駐車場を造り、運営します。	B	構想案40ページに示すとおり、新たな取組みとして、有休ゴルフ場の活用策の検討を行ってまいります。
51	第4章	秦野には丹沢から湧き出る名水があります。水無川を流れる水を使用し、県立秦野戸川公園内に滝をつくり、滝のある魅力的な公園にします。 公園内の茶室庭園内を流れる水を利用して、落差約15メートルの滝を川に落とし、滝の下で子どもたちが楽しめる場所をつくり、観光名所とします。	C	構想案32ページに示すとおり、県と連携しながら、ファミリー層など表丹沢の自然を気軽に楽しむスポットとしてのサービス向上策を検討してまいります。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
52	第4章	タウンニュースに登山や沢登り、ハイキング等のツアーを掲載してほしいです。今の時代は、インターネットで情報収集している方が多いと思うので、「秦野市 登山ツアー」で検索すれば、ツアーが出てくるとよいと思います。	B	構想案46ページに示すとおり、今後、表丹沢にある多くの資源や活動等を集約した情報のプラットフォームを構築し、より効果的に情報発信を行ってまいります。
53	第4章	秦野市のこれまでの施策（主に観光事業）の課題はアピール不足だと思います。この課題を克服しなければ、いくら素晴らしい計画を練ろうが、結果はこれまでと同じものとなってしまい、中途半端に終わってしまう気がしてなりません。	B	構想案46ページに示すとおり、今後、表丹沢にある多くの資源や活動等を集約した情報のプラットフォームを構築し、より効果的に情報発信を行ってまいります。
54	第4章	ヤビツレストハウスの計画を広報はだので拝見しました。この数年で市外から多くのサイクリストが訪れるようになり、このような施設が求められることは理解しますが、ヤビツ峠付近や周辺道路の整備はどのようにお考えでしょうか。狭い峠に施設を作れば、休日は大変賑わうことでしょうか。そのようなときの安全確保についてどのようにお考えでしょうか。周辺道路のサイクリングマップや自転車道の整備、サイクルツーリズムの企画に予算をかけるのもよいと思いますが、いかがでしょうか。	B	構想案37ページに示すとおり、今後、県と連携しながら、県道70号の道路拡幅や歩道設置等の可能性の検討のほか、効果的な交通ルールとその周知方法の研究を行ってまいります。
55	第4章	市内の山林の最大土地所有者は、財産区を除くと林野庁と諸戸土地㈱である。市内の山林のほとんどが、保安林であるため何を行うにしても、土地所有者と神奈川県との理解がないと何もできない。このため、新しい取組においては、関東営林局東京神奈川森林管理署、神奈川県環境農政局及び諸戸土地㈱は、外せないのではないかと。	C	いただいた御意見は、今後の取組みの参考にさせていただきます。
56	第4章	資源の適切な保全と新たな展開 P31に記載されているパラグライダーは、気象条件と地形の優位性を備えたランディングバーンがすでに整備されている。着陸点の確保さえできればワールドカップ開催の可能性を秘めている案件です。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
57	第4章	木質バイオマス導入の検討 木質バイオマスの活用においては、神奈川県森林組合連合会（菖蒲）において木質バイオチップ事業を行っています。	B	構想案40ページに示すとおり、～木質バイオマス導入の検討については、比較的市街地に近い里山林での事業化を想定しております。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
58	第4章	<p>周辺地域の連携による魅力の広がり</p> <p>現在、秦野駅からヤビツ峠までのバスルートはあるが、ヤビツ峠から先については、公共交通が未整備です。蓑毛からヤビツ峠までは、神奈中の企業努力で林道の拡幅が行われたものです。しかし、その後県道への昇格により現在では、清川村との市境まで大型バスの通行が可能となっています。公共交通が延伸することにより表丹沢への登山者の分散化と魅力向上が図られると思う。</p>	B	<p>構想案57ページに示すとおり、タクシー等を活用した回遊性向上も検討してまいります。</p>
59	第4章	<p>表丹沢西エリアについて</p> <p>当該エリアにおける登山基地としては、戸沢出合を外すことはできない。大倉から徒歩約1時間の地点ですが、塔ノ岳へのアプローチとして天神尾根、政次郎尾根、戸沢尾根、源次郎尾根、書策新道、烏尾尾根の6コースのほか沢登りによる登頂もあり、このエリアのハブとなっている。また同様に四十八瀬川の二俣も大倉尾根を挟んだ第2のハブ地点である。</p>	C	<p>いただいた御意見は、今後の取組みの参考にさせていただきます。</p>
60	第4章	<p>表丹沢中央エリアについて</p> <p>丹沢銀座と呼ばれている表尾根は、登坂距離の長さグレードの高さからして丹沢の中で最も人気がある。このエリアの更なるブラッシュアップとして、菩提峠と三ノ塔間にロープウェイを懸け、三ノ塔と烏尾山間には、ジップラインを架設することにより箱根に勝る景勝地を創造できると思う。</p>	C	<p>いただいた御意見は、今後の取組みの参考にさせていただきます。</p>
61	第4章	<p>表丹沢東エリアについて</p> <p>大山への秦野からのアクセスとしては、蓑毛ルートとヤビツルートの2つが代表的なものだが、登頂した多くの方が、伊勢原へ下山してしまう。大山において最も自然豊かなルートは、北尾根コースであり、最も空いていたのが弘法山までの前尾根コースでした。前尾根コースは、ここ数年秦野山岳協会による紅葉ハイキングにおいてPR事業を行うとともに、市事業による修景伐採により尾根筋から富士山が見えるビューポイントを複数作ったことにより、登山者は年々増加している。残念ながら大山山頂から弘法山までトイレがないので女性には紹介できない。</p>	C	<p>いただいた御意見は、今後の取組みの参考にさせていただきます。</p>
62	第4章	<p>表丹沢で事業を始めるに当たって来訪者への聞き取り調査なども行ったところ、表丹沢はトレーニングでくるとい方が多かったです。そこで早めに手をつけていただきたいのが「大倉高原」のテント場の整備です。トイレと水場が最低限整備されればテント泊の山登りトレーニングに提案しやすい場所になります。</p>	B	<p>構想案39ページに示すとおり、テントサイトを生かした環境整備などを進め、更なる魅力向上を図ってまいります。</p>

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
63	第4章	<p>ヤビツ峠がヒルクライムの聖地とされ、現在多くのサイクリストで賑わっている。ただ、ヒルクライムをしてそのまま帰ってしまう人がほとんどである。ヤビツレストハウスが建設されれば、休憩時に他のアクティビティや秦野の魅力を発信できるいい機会の場となるだろう。</p> <p>一方、欧米ではロードレーサー以上の人気スポーツであるマウンテンバイクだが、残念ながら日本ではいまひとつ育っていない。それは山がたくさんあるのに走る環境が整備されていないためである。現在成功している場所は、白馬岩岳、富士見パノラマ、ふじてんなどすべてスキー場で夏季集客に結びついている。ただ、これらの地域は首都圏から遠いので、頻繁に行くのは時間も費用もかかってしまうという点がデメリットである。その点、表丹沢であれば首都圏から一時間程度の一番身近な山々なので、走行できればたくさんのビジターが訪れる可能性を持っている。</p> <p>表丹沢林道、桜沢林道、羽根林道など主要な林道は、ゲートで閉じられ自転車通行禁止となっている。これではどこからもアクセスできず、事実上走行禁止ということになっている。また、森林組合、林業関係者と市の政策のすり合わせができておらず、ここは仕事の山だから来るな暴言を受けたりすることがある。</p> <p>マウンテンバイクの醍醐味は、林道走行ではなく、シングルトラックと呼ばれる細い山道であるが、そのほとんどが登山、あるいは林業のための設計であり、勾配が急で段差も大きいので初心者が走行するのは困難である。例えば、表丹沢林道より下側を横方向に移動しながら徐々に高度を下げるようなマウンテンバイク専用トレイルが必要である。</p> <p>マウンテンバイク愛好者はほとんど車に自転車を積載して首都圏から来訪する。駐車場、水場、トイレは必須である。レストハウスで飲料や簡単な食事ができればさらにいい。そこにレンタルバイクがあり、インストラクターがコース紹介、乗り方レクチャーなどがあればさらにいい。興味ある初心者がひとりで訪れても何の不安、ハードルもなく楽しめるようになっている。もちろんサービスの内容によっては有料でもかまわない。</p> <p>以上を取り入れていただければ、ロード、マウンテン問わず自転車ウエルカムの街秦野をアピールでき、来訪者が増えると思う。さらにマウンテンバイク愛好者は、キャンプ、登山、トレイルランニングなど他のアクティビティを複合して行っている人が多く、家族ぐるみでの来訪の機会が高まる。また、自然環境に関心が高いのも特徴で、秦野で遊んでいるから里山整備に協力しよう！という動機づけにもなる。</p>	B	<p>構想案33ページに示すとおり、ヤビツレストハウス（仮称）は、山岳アクティビティの活動を支える機能の充実や多様なアクティビティの交流による活動の創出につながる施設となるよう進めてまいります。</p> <p>また、構想案35ページに示すとおり、市営林道をはじめその他林道も含めて、活用の可能性を検討してまいります。</p>

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
64	第4章	<p>秦野の一番いいところは、都会からのアクセスがいい。金曜日に思い立ったら次の朝新宿の始発電車に乗れば昼前には塔ヶ岳につき、その日のうちに楽々帰宅。でも、このアクセスの良さが問題でもあります。泊まらなくても気楽に行ける。お金もかからない。それでは地元にお金は落ちません。今の時期、コロナウイルス、外出自粛もあり東京の奥多摩等が多いに賑わっています。しかし、秦野にはキャンプ出来る施設はほとんどありません。山川をゆっくり満喫出来るコテージ等もあまりありません。先日クライミング施設もオープンしましたが、この利用者も日帰り。</p> <p>せっかくの大自然があるのに、ゆったり過ごせる宿泊施設等がほぼありません。もったいないです。新東名ができて、益々交通アクセスは良くなりますが、このままでは旧態依然。アウトドアの大手企業、例えばモンベル等と組んで宿泊施設等を含めた大きなアウトドアワールドみたいなものを考えて欲しいです。勿体無いです。私は丹沢で育ててもらい、沢歩きもし、いっぱい楽しませて貰いました。SA内にmont-bell店誘致、バンガロー風宿泊施設の設置なども考えられる。行って楽しい、魅力溢れる街になってほしい。ロープウェイで富士山を見て、夜景を楽しむもありです。</p>	B	<p>構想案35ページに示すとおり、宿泊施設の可能性を検討してまいります。</p>
65	第4章	<p>「安全・安心に楽しむための基盤整備」について 市内道路にはなるべく自転車専用レーンを設けてほしい。 自転車の公道走行ルールを利用者に周知してほしい。</p>	B	<p>構想案37ページに示すとおり、県と連携しながら、県道70号の道路拡幅や歩道設置等の可能性の検討のほか、効果的な交通ルールとその周知方法の研究を行ってまいります。</p>
66	第4章	<p>「二次林の活用等による適切な自然保護の推進」について ボランティアの募集を手紙ではなく、アプリなどで合理的に募集してほしい。</p>	C	<p>いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。</p>
67	第4章	<p>「地域が主体となった体験の提供」について 地元小中学生の学校行事としての登山をさせるなど、市民に先行体験させる機会が必要ではないか？</p>	C	<p>いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。</p>
68	第4章	<p>P35 回遊と滞在を高める仕掛けの充実 新たな取組みにNo.8シャワー施設の設置を追加。 かつて里山保全活動に関わっていました。勤めていた企業に働きかけ、社員の募集をしたところ関心は高かったが、鉄道や車で移動のため、汗や汚れを流す場所が、活動する近くにあれば非常に助かると考えます。</p>	C	<p>いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。</p>

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
69	第4章	<p>P40 二次林の活用等による適切な自然保護の推進 1行目 里地里山 → 里山里地に変更 奥山 → 里山 → 里地 → 市街地。 市街地 → 里地 → 里山 → 奥山。</p> <p>新たな取組みにNo.5ジビエ料理の検討を追加。 表丹沢では定期的にシカやイノシシを捕獲しています。生肉は肉中虫がいるため、食べられないので必ず火を通す必要があります。何度か食する機会がありましたが、硬くて旨いと思えませんでした。普通に食べられる程度になれば、秦野の名物になると考えます。</p> <p>新たな取組みにNo.6学校林の復活、新設を追加。 自然と環境を学ぶフィールドを創る。かつては市内の学校（主に中学校）は学校林を持っていました。奥山や奥山に近いどちらかといえば、あまり立地条件のよい場所ではなかった。 ここでの提案は、里地に近い二次林を活用することで、都市部の学校も呼び込み、夏・冬・春休みの長期休暇の郊外活動の提供を考えています。</p>	C	<p>いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。</p>
70	第4章	<p>P41 図について 来訪者と市民の位置が、左右逆だと考える。また、来訪者の「表丹沢の魅力を発見する・伝える」は、矢印は上方から出し、市民は受ける側なので、下方の矢印になると考えます。</p>	A	<p>いただいた御意見を参考に図を修正しました。</p>
71	第5章	<p>アメニティ・タウン計画などの似たような構想や計画が、今までもいくつもあったが、実現しているものは少なく、絵に書いた餅にならないようにしてほしい。</p>	B	<p>構想案61ページに示すとおり、構想策定後は、PDCAサイクルを繰り返しながら、具体的な事業計画の策定や見直しを行い、活動の成果と課題を明確にします。その中で、達成できなかった取組については、その原因や問題点を分析し、その後の事業計画に反映してまいります。</p>
72	第5章	<p>構想の段階から難しいと思うが、タイムスケジュールを作成して全体計画、財政的な裏付けをすべきである。少なくとも早期に着手できるよう一部でも予算化すべきである。</p>	B	<p>構想案61ページに示すとおり、構想策定後には、魅力づくりビジョン実現のため、具体的な事業計画の策定などを進めてまいります。</p>

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
73	第5章	都心から1時間の立地で丹沢の自然を堪能してもらい、お金を落としてもらおう事業は有用だと思います。市にリーダーシップを発揮していただきたいですが、風通しの良い運営にしてください。声の大きい人だけでなく、将来を担う若い人たちが意見を言ったり考えたり参加する状況を作ってください。（例えば、学校グループでの調査、提案、発表など）	B	構想案59ページに示すとおり、構想を実現するため、市民・活動団体、民間事業者、行政等がお互いの役割を理解するとともに、各主体が連携・協働し、一体的に取り組む推進体制の構築が必要と考えております。 その中で、行政等の役割は、構想の旗振り役として、各主体が連携し、情報共有できる体制を構築するとともに、担い手となる市民・活動団体の人材育成等を進めてまいります。
74	第5章	構想の推進に向けて 秦野の未利用資源を活用したまちづくり、魅力づくりの構想が作られることについては、素晴らしいことであると思うが、構想策定において山を最もよく知り知識も経験もある秦野市山岳協会に全く相談がなかったことについて不満である。	C	今後、構想実現に向けて、具体的な事業等を推進していく際には、御相談させていただき、連携を図らせていただければと思います。
75	第5章	表丹沢魅力づくり構想を推進していくに当たり、秦野市にはトレイルランニング業界で草分け的存在の方が在住されていたり、アウトドア雑誌に記事を多く掲載されてる方が丹沢に足繁く通っていたりしますので、表丹沢を外から見てもどのように映るのがわかるような方達にも参画していただき、推進してほしいと思います。また、PDCAサイクルを回して取り組みをしていく旨が記載されていたので、その内容もわかりやすいよう開示して事業を進めていただきたいと思います。	C	いただいた御意見は、今後の取り組みの参考にさせていただきます。
76	その他全般	現在の時代背景に合致した構想であり、特にコト消費というのは、アクティビティが豊富な丹沢ではニーズにも合っており、構想実現に向けて、進めていただきたい。	B	いただいた御意見のとおり、構想策定後は構想実現に向けて各方針を推進してまいります。
77	その他全般	表丹沢を活用していくことは理解できるが、まずは、小田急と連携し、本市の玄関口である4駅周辺に対して、しっかりと対応すべきである。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
78	その他全般	秦野（仮称）SAの名称を決定する際には、丹沢という名称が使われるよう働きかけをしてほしい。	C	サービスエリアの名称については、本市の認知度を高め、さらに本市の特徴と魅力を発信する有効な手段であることから、どのような名称がふさわしいか中日本高速道路㈱と協議を進めております。今後、中日本高速道路㈱からの名称素案に対する意見照会については、パブリックコメントを行い、市民の皆様から御意見を伺う予定です。
79	その他全般	エリア内にキャンプ場が少ないので、もっと増やして行ってほしい。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
80	その他全般	本年、特に落葉広葉樹の枯死が目立つナラ類ブナ類は、たばこ苗床の発熱材料として利用されてきたため、ナラ類ブナ類の保全繁殖、管理も考えてほしい。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
81	その他全般	東京から1時間でアクセスできる沢登りの場所としては、希少な場所だが、逆に中級以上で危険性もあるので、整備・要注意の喚起をすべきである。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
82	その他全般	山麓地帯に相当数の駐車場の開設が必要である。	B	秦野SA（仮称）にふらっとパーク駐車場が設置予定であるとともに、構想案37、40ページに示すとおり、県と連携しながら県立秦野戸川公園の未開設区域の活用検討を行ってまいります。
83	その他全般	入山者名簿、救護対策等の整備・充実を図ってほしい。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
84	その他全般	「表丹沢魅力づくり構想（案）」には、サブタイトルとして「本物の魅力が見つかる表丹沢」とある。唐突で曖昧模糊とした語彙だが、面白い問題提起だと思う。しかし「本物の魅力」とは何か、語彙の意味や定義を市民に示していただきたい。このことが「絵にかいた餅」になってしまうのではないかと危惧する。本物の「本物の魅力」が市民と共有できるよう、更に踏み込んだ問題提起をしていただきたい。	B	構想案24ページに示すとおり、第3章表丹沢が目指す姿において、表丹沢の魅力づくり関わる全ての人の共通指針となる「魅力づくりビジョン」を示し、その中で「本物の魅力」が見つかる表丹沢を主題として挙げております。 また、構想案25、26ページにペルソナを用いて、市民・来訪者に分けて、「本物の魅力」が見つかる表丹沢を示しております。
85	その他全般	計画づくりに1,200万円の予算をとれるのであれば、その半分でも宣伝費（広告費）に充てることはできなかつたのか。 小田急線の駅（看板広告）や車内にポスターを掲載する費用はどのくらいなのか。 市外に向かって宣伝することが大切であると考えます。	C	構想案においても、適切で効果的な情報発信の必要性を課題として捉えており、今後表丹沢にある様々な資源や活動などを集約した情報プラットフォームの構築に向けて検討してまいります。
86	その他全般	秦野SAとスマートICができるのなら、まず北小・北中学校近隣の交通量が増える と予想されます。すぐに道路拡張や歩道の整備、地域住民と子どもたちの日々の生活安全を考えた環境づくりを始めてください。また、国道246号の渋滞対策を考えてください。	C	新東名高速道路建設に伴い、市道等の環境整備を進めておりますが、構想案37ページに示すとおり、周辺施設間の連携向上のため、アクセス道路の整備についても、検討してまいります。 いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
87	その他全般	一つの事業を運営し、継続していくのはとても大変なことだと思います。ひとりでも多くの人に着目してもらい、参加してもらい、市民に面白がってもらいたいです。そして、面白エネルギーを振りまいてください。「何だかあそこで面白がっているよ」と気になれば人は寄って来ると思います。コロナ後の移住で市民が増えるといいと思います。	E	構想案24ページに示すとおり、市民が表丹沢の魅力を再認識し、愛着や誇り（シビックプライド）を高めるとともに、市外からの来訪者には、2度、3度と訪れていただくことにより、交流人口や関係人口の創出等を図ることで、地域活性化につながるようにしてまいります。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
88	その他全般	丹沢大山国定公園の指定により、開発は困難であると思いますが、軽井沢のように標高が高い所でも車で行けるキャンプ場があれば首都圏からのニーズは高いと思います。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
89	その他全般	吾妻山は、気軽なハイキング感覚で登れ、標高が低く（125m）ルートも複数存在し、駅からも数十分でアクセスが良い。 古代のヒーローにあやかり、市内小中学校に自分のイメージするヤマトタケルノミコトやオトタチバナ姫をイラストにするなど自由な創造を提案します。 コスプレなど、年代を問わず登山・ハイキングに興味を持たない人でも容易に参加できる企画。 熟年夫婦、子育て世代、若年夫婦、子育て世代、若年夫婦、恋人同士、まだ見ぬ人へ、将来のあなたへ贈るラブレターのポストなどの設置。 各ハイキングコースの途中にある鶴巻公民館や宮永岳彦記念美術館にヤマトタケルノミコトのコーナーも設置。	C	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
90	その他全般	ヤビツ峠レストハウスの建設について、既に決定事項になっている。 パブリック・コメントの締切が8/17のため、行政として手続が矛盾している。	E	ヤビツレストハウス（仮称）の建設については、平成29年度に政策決定し、平成30年度から新たに設置したヤビツ峠周辺活性化協議会において、事業計画、方向性等の検討を行い、現在は令和3年3月のオープンを目指して、工事を進めております。

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
91	その他全般	<p>構想案はとてもよく考えられていて、新東名高速道路開通とともに、2 I C + 秦野 S A が供用開始となる2023年度は、内外に魅力ある秦野市をアピールする、またとない機会であることは間違いありません。しかしながら、構想案を拝読し、致命的に欠けているものを感じました。それは「食」の提供です。構想案の初期段階では、魅力発信の拠点は物理的には「秦野 S A」や「秦野駅」、I T 上では「情報プラットフォーム」やチラシ・広告になるでしょう。</p> <p>今後の情報発信や内外からの集客の初期～中期の中核を担っていくのはおそらく「秦野 S A」と「戸川公園周辺」だと思われます。秦野 S A にはレストラン群が設置されるでしょうから、戸川公園周辺に秦野の魅力ある食を“ワンストップ”で“色々なものを提供できる場”が必要ではないでしょうか。今の戸川公園周辺では飲食店が少なく、人々の増加に遅れず準備を進めていくべきと考えます。</p> <p>構想案には、時間を割いて秦野市へ足を運んでもらい、楽しい思いをしてもらうことは記載されていますが、美味しい秦野の味を知ってもらうこと、提供する方法が書かれていません。“また秦野に来たいね”と思ってもらうには、魅力を最大限発揮し、半減させてしまう要素を丁寧に取り除くことが大事かと思えます。</p>	C	<p>いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。</p>

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
92	その他全般	<p>熊のお立ち台公園：企画書 公園の内容にストーリー性を持たせ、そのストーリーの一つの具体的な例として、公園-梅園-里地-里山-自然林を一体化した施設を提案する。</p> <p>基本的な考え方：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) すべての人に「問いかける」というストーリーをこめた公園 2) 公園だけの単一機能施設ではなく、複数の機能を連結し、一体化した施設 <ol style="list-style-type: none"> ① 公園、梅園、里地、里山、自然林 ② 医療、警察、売店、休憩施設、倉庫、樹材や花材等の販売、貸出業 ③ 短期の体験宿泊施設 <p>3) 昼夜とも、人が常駐して、表丹沢地域の安全、医療、交通、生産の基軸（ハブ）となる施設</p> <p>4) 大学、ボランティア団体、地元住民、職業訓練校、地元の芸術家等の多くの分野の人々と連携して運用</p> <p>5) 市外からの観光客を受け入れて、案内し、巡回する起点</p> <p>6) 市民の人生のあらゆる場面に対応する施設（幼児、生徒、学生、成人、老人）</p> <p>7) 100年の森となる自然林を背景とし、イノシシ、鹿、ハクビシン等の生活圏の境界線とする</p> <p>8) 営業機能を内包して、ある程度、経営的に自立できる施設</p> <p>立地：国定公園の外縁に接し、周囲の施設からほぼ等距離で、葛葉川を内包する</p> <p>以下に、個別の施設の概略を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公園部 2. 梅園部 3. 里地、里山、自然林部 	C	<p>いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。</p>

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
92	その他全般	<p>1. 公園部：</p> <p>1-1. お立ち台 施設のほぼ中央の小高く、全体が見渡せる位置に、お立ち台を配置する。その周囲に、そのストーリーを想定できるように、リス、ウサギ、タヌキ、鹿、熊等の像を配置する。 像の作製は地元芸術家へ依頼する。SUS製の針金の網で成形されたものを想定している。横に、「熊のお立ち台」の掲示板を設置する。</p> <p>1-2. 公園広場 お立ち台の下手に芝の広場。所々に砂場を配置。 ここは、幼稚園児の屋外での遊び場を想定。 トイレ、手洗い場、東屋を配置。 梅の木の並木や花壇を配置し、茶会の席が設営できる水屋や座席を配置。 テニスコート10面分くらいの平地：バスケットやサッカーのゴールや弾除けのネット。 鼓笛隊やブラスバンドの屋外練習場。 その横に、ボールやゴール、ネット等の保管庫、手洗い場、トイレ、楽器の保管室や屋内練習室。 これらの施設は公園の管理棟から監視、保全できるような配置にする。</p> <p>1-3. 公園管理棟：ちょっとした集落程度の規模となる 管理棟内の施設として、 ①昼夜、看護師が常駐する医療施設。（表丹沢地区の医療施設とする） ②交番（夜間も住み込み） ③休憩施設：幼稚園児らが常時利用できる場（自販機、机、いす、手洗い、トイレ）、 売店：観光客や地元の人対象（JAの出張所、土産等）、屋外にもテーブル席 幼稚園児や児童、生徒の送迎者が休養できる場、ボランティア団体の活動の場</p>	C	<p>いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。</p>

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
92	その他全般	<p>（備品等の倉庫）</p> <p>④古い農家で秦野体験宿泊をできるようにする施設の併設。</p> <p>⑤梅園や花材等の管理、販売事務所（直売所を併設）、管理用の道具や機器、資材等の保管所</p> <p>⑥公園の保守管理者、作業者の控室、道具、器具、資材類の保管所</p> <p>⑦駐車場、駐輪場、幼稚園児の送迎バスの乗り場、（交通安全、動線の設定に留意）</p> <p>⑧交通、トイレ、施設の出入り等に身障者保護の配慮</p> <p>2. 梅園部：</p> <p>①200種類の梅の収集を目標とする。</p> <p>②開花期、花の色、樹形等を考慮して配置する。 （デザイン、設計、施工等に職業訓練校と提携する）</p> <p>③貸出しの営業用として、1セット4本ずつ、3年ごとの間隔で用意する。 施設内の展示とともに半年から3年程度の期間の貸出しの営業を行う。 そのために、移植を容易にできるように、桁型の金属製埋込式植木鉢を用いた盆栽仕立の栽培を行う。</p> <p>④施設内の展示用として、梅園設立から5年間程度の期間、小田原の梅干し用梅樹の更新で出た古木を引き取り、外周や街路に沿って植えて、梅園の新規の梅の木が成長するまでの繋ぎとする。収穫された梅の実を直販する。</p> <p>⑤梅園の整備、日常管理等の労務はシルバー人材を活用するが、職業訓練校の実習を受け入れ、訓練生の就職先としていく。</p> <p>⑥公園部、梅園部の景観整備の一環として、四季折々の花材を育成する。</p> <p>3. 里地、里山、自然林部：</p> <p>①景観の保存に努める。 施設内に居住する形になった農家は引き続き、農業を継続していただく。 高齢により困難になった方には作業の補助を行う。 補助には、ボランティア団体や大学の協力を受ける。 空き家は、観光客の体験宿泊施設、休憩施設、作業部材等の保管施設等に用いる。</p> <p>②里地、里山への市民、観光客、ボランティア団体、大学の参加を受ける参加型の活動を行う。</p> <p>③国定公園の境界部に沿って、100年の森となる自然林を形成するように、植林を行う。 自然林と里山の境界部に十分な広さの遊歩道を設けて、夜間照明を行い、イノシシ、鹿、ハクビシン等の生活圏の境界線とする。</p>	C	<p>いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。</p>

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
93	その他全般	<p>ドッグランの設置 ペットと住むなら秦野 市民で日本一、水無川風の道から始まる幸せ実感オンリーワンなまちづくり ドッグランは、以前からの夢でしたので設置案はワクワクするような内容で嬉しいです。 （提案） ①高架下のメリットを理解した上ですが、できれば日の当たる場所も必要かと思いません。夏場や雨天の時は良いですが、寒い冬に日が当たらなければ訪れる人はいないと思います。 ②高架下の床は、犬の足に負担のかからないものをお願いいたします。 ③暑さ対策にミストが出ると嬉しいです。 ④浅い水たまり（子ども用のじゃぶじゃぶ池のような）を作り、遊べるようにする。 ⑤ドッグラン内には、ベンチを多めに作る。 ⑥ロッカー式の荷物置きを設置する。 ⑦足洗い用水道場の設置（車で帰る前に洗えると嬉しい） ⑧お洒落なドッグランの看板を作り、フォトスポットとする。 是非機能的でセンスのある秦野独自のドッグランを目指してください。 それには、運営するスタッフの意識が一番大事かと思われます。</p>	C	<p>いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。</p>
94	その他全般	<p>表丹沢で何を魅力に感じるかは人それぞれで何に注力してリピーターを増やしていくかは、今後具体的な取組みで決まっていくと思います。それぞれの得意分野で魅力を提案していく形になると思いますが、そこで重要になってくるのが若い世代が魅力を提案していく事業でしっかり収入を得られる体制ができていくことが重要であると思えます。観光ボランティアがガイドをしたり、NPO団体が里山を守ることも重要だと思えますが、それで事業収入を得られなければ意欲的にその事業に注力する人材が増えず魅力を発信する力が大きくなりません。例えば、登山業界ではガレージブランドと呼ばれる中小の登山用品を制作するブランドが増えています。都心にもフィールドにも近い表丹沢という立地で事業所を作りたい業者を誘致することで交流人口を増やすことができるのではないかと思います。</p>	C	<p>いただいた御意見は、今後の取組みの参考にさせていただきます。</p>

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
95	その他全般	<p>登山や森林セラピー、農業体験などを提供するに当たり、現在問題になっているのは「ヤマビル」の存在だと思います。西丹沢ビジターセンター一帯ではヤマビルがいません。その事はあまり知られていないのですが、その事実を来訪される方に伝えると「丹沢にもヒルがいないところがあるんですね」と驚かれます。その地域に来てくださいと言う方もヒルのリスクがないのは大きなアドバンテージになっています。ヤマビルをゼロにする事はできないと思いますが、数を減少させる取組みは早急に進める必要があると思います。また、ヒル対策もしっかりと伝えていくのも必要だと思います。「秦野山旅」の特設ページでもヒル対策は確認できなかったもので、ヒルの存在を知らず表丹沢に来て被害にあうのとヒルの存在は知ってるのとではリピートにつながる可能性は大きく違ってくるのではないかと思います。</p>	C	<p>いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。</p>
96	その他全般	<p>1000年の山 表丹魅力づくり構想の一つに「1000年の山」構想を入れていただけないでしょうか？ 具体的には、秦野市の山の一部でもよいので、「1000年先まで（今のままを）守る山」を作っていただきたい。 1000年先の地球では、何より自然が貴重になっていると思いませんか？ そこで、今回の構想に入れて一部の山を「ここは、1000年先まで残す。その為に守る」と決めていただきたい。 今すぐ経済の活性化につながらなくても、必ずや美しい手つかずの自然の魅力に人が集まり、様々な効果につながると信じています。イギリスのナショナルトラストも大変貴重なものになっています。</p>	C	<p>関連計画であるはだの一世紀の森林づくり構想等の別の構想などにおいて、持続可能な秦野らしさのある森林づくりに向けて取り組んでまいります。</p>
97	その他全般	<p>きれいなトイレ 秦野市のトイレは大変掃除が行き届き、安心して使用できます。これを継続して、全国一、世界一きれいな公共施設のトイレのある市になりませんか？</p>	C	<p>いただいた御意見は、今後の取組みの参考にさせていただきます。</p>

表丹沢魅力づくり構想（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	構想案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
98	その他全般	<p>表丹沢という呼称について 「表丹沢」が連呼され、「秦野」のアピールになっていない。 「表丹沢」という表記は、秦野市独自のものですか？「湘南」みたいなイメージ？ 「表丹沢」と、蛭ヶ岳方面の「北丹沢」や宮ヶ瀬方面の「東丹沢」などとの整合性は？ 「表丹沢東」「表丹沢西」という表記も上記との兼ね合いもあり、紛らわしい。 資料の中で「本市は～」という表記と「表丹沢は」という表記が混在し、アピールしたい部分が見えにくい。 丹沢という名前を使うなら、隣接する丹沢山系の自治体と足並みを揃えてほしい。 最近できたボルダリング施設には「HADANO TANZAWA」というのぼりが立っていた。 秦野丹沢水無川マラソンの大会名はどうするのか？</p>	C	<p>構想案3ページに示すとおり、本構想案では新東名高速道路の周辺に広がる里地里山から北側に位置する丹沢山地一体を中心とした本市域を「表丹沢」と位置付けています。 また、丹沢の資源を共有する周辺自治体とも連携を図りながら、魅力向上に向けて推進してまいります。</p>
99	その他全般	<p>この構想（案）作成に、コストはいくらかけているか知りたい。</p>	E	<p>令和元年度表丹沢魅力づくり構想策定等支援委託業務として、12,045,000円を支出しておりますが、表丹沢魅力づくり構想検討のほかに、東地区土地利用の可能性検討及び渋沢丘陵の新たな土地利用方針に向けた課題整理の3つの業務を委託しております。</p>